



令和2年10月12日

1つ上の学年を意識して ～授業でも『ONE TEAM』～

(9月29日全校朝会 校長講話より 抜粋)

9月24日の運動会。大変すばらしい運動会でしたね。スローガンのもと、よくがんばりました。スーパー元気玉やリレーでは、チームの仲間と相談して、作戦を立てていましたね。ハイヤは、休み時間も練習し、白峰の伝統を披露できましたね。

運動会はどうして大成功したのでしょうか？それはみんなの力、仲間の力があったからです。つまり『ONE TEAM』だったのです。

- ・よい言葉…「がんばれ」「～したらいいよ」「ありがとう」等の声かけができていました。
 - ・よい態度…最後まであきらめずに、頑張りきりました。きびきび動いていました。
- 係活動もすすんで行っていました。

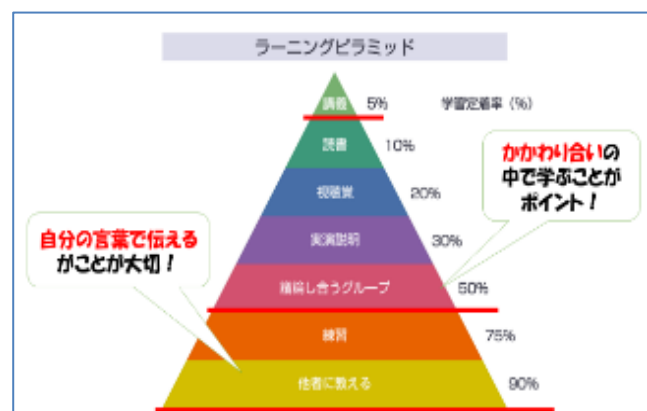
- ・よい表情…真剣さ、楽しさ、思いやりが、みなさんの表情に表れていました。

決して一人では、このような成長、大成功の運動会にならなかったと思います。

さあ、あさってから10月です。4月に始まり、3月までの一年間。そのちょうど折り返し地点です。例えば、4年生はこれまでは3年生に近い4年生だったのですが、10月からは5年生に近い4年生なのです。高学年になるということを意識してください。6年生だったら、中学生。5年生だったら6年生、最高学年になるということ。3年生、2年生、1年生の皆さんも、ひとつ上の学年に近づく意識をもって過ごしてほしいと思います。そのためには…。運動会の学びを、普段の学習に活かしてほしいと思います。

(図の提示) この図は、ラーニングピラミッドというものです。どんな学習をすると、学んだことが身につくかを表したものです。

話を聞いただけだと、5%しか頭に残りません。しかし、グループで話し合うと50%、だれかに教えると90%が頭に残るということです。つまり、仲間と話し合ったり、わかったことをもう一度自分の言葉で表現することで、学んだことが身につくのです。話し合いに参加しなかったり、聞いただけでわかったつもりになっていると、伸びていくことはできません。



授業でも『ONE TEAM』です。仲間と話し合ったり、わかったことをもう一度自分の言葉で表現することで、みんなで成長していきましょう。

＜やまめの稚魚放流＞ 9月28日(月) 昼休み

白峰漁業協同組合の方々のご協力で、今年度もやまめの稚魚放流を行うことができました。一人ひとりバケツに稚魚を入れていただき、学校横の手取川に放流しました。放流前には、漁協の方から「幻の無斑いわな」についてなど、詳しくお話を聞くこともできました。



【説明される漁協の南さん】



【やさしく放流する児童】



【風組さんの協力もありました】

＜秋の校外学習＞ 10月6日(火)1～4限

今年度は、全校で「白山麓民俗資料館」に出かけました。前半は学年別行動、後半は全校遊びでした。山口館長さんはじめ職員の方々のていねいでわかりやすいお話や展示物の見学を通して、「白峰」の豊かなくらしや知恵、豊かな自然を感じ取ることができました。また、全校遊びや到着式での様子からは、児童の豊かな心を感じ取ることができ、大変うれしく思いました。



【旧織田家にて】



【囲炉裏端でだんらん】



【かつての精米の器具 体験】



【低学年 展示室にて】



【全校遊び 宝うばい】



【全校遊び 三色おにごっこ】



しつけ考 (日本教育新聞の記事より抜粋)

返事やあいさつは礼儀の基本である。そういう基本がしっかり身に付いているかどうかで、人の印象は決定づけられるからだ。「しつけ」の「躰」と言う文字は「身」に「美」と書くが、「躰」とは、そこにたたくむだけでも美しさを感じさせるように育てることを意味しているのだろう。(中略) 子どもが将来独り立ちするときに、特に意識せずとも人から好かれ、信頼されるような振る舞いができる子に育てることが「躰」なのである。



ステキな姿

朝、教室から出てきた低学年児童が、出会った上級生に「〇〇君、おはよう！」と声をかける場面がありました。上級生も「あっ、おはよう！」とあいさつを返していて、とてもほほえましく思いました。些細なことかもしれませんが、心があたたかくなるステキな姿でした。